

人権が尊重され、みんなが住みやすい明るい社会を築こう



# ひまわり

第55号

令和4年11月1日

発行／倉敷市水島中学校区人権学習推進委員会 事務局／倉敷市水島公民館 倉敷市水島北幸町1-2 Tel.086-444-2541

## 人と人が触れ合い、明るく暮らせる水島の未来のために



### 新会長あいさつ

倉敷市水島中学校区人権学習推進委員会 会長 おんべ 遠部 壽美江



この度、難波弘毅会長の後任として会長を務めさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年、一昨年とコロナ禍により事業が中止・縮小となっていました。今年度の総会を6月11日(土)に無事開催することができました。

水島中学校区人権学習推進委員会は平成7年に水島中学校区の人たちにより発足し、28年になります。平和・同和問題・外国人・高齢者・子ども等の人権課題に取り組んできました。今、人権に関わる課題は、コロナ感染者への中傷・SNS・性的マイノリティ等と多様化してきています。最近の国内や世界の報道を見聞きすると人権の大切さと日常の活動の大切さを改めて感じます。

多くの方に、まずこの広報紙「ひまわり」を読んでいただき、様々な事業に参加していただきたいです。人と人が触れ合うことが互いの理解につながり、それが偏見や差別のない、皆がともに明るく暮らせる水島につながるのですから。

皆さん、マスコットキャラクターの『はあとくん』とともに、人が大切にされる水島の未来のために活動していきましょう。



はあとくん

### 水島中学校区人権学習推進委員会総会 6.11(土)

コロナ禍で書面表決によって行っていた総会が、推進委員・事務局員など30人の出席で、3年ぶりに開催されました。遠部新会長のもと、今年度の事業計画や予算案について審議、承認されました。今年度の重点目標は「子ども・高齢者の人権、地域や先人に学ぶ」に決まりました。

ともに学び合い、人が大切にされる、明るく住みよい地域づくりにつながる事業を推進したいと考えています。

### 研修視察「戦争と命の尊厳について考える」 9.17(土)

今年度の人権研修視察は、「戦争と命の尊厳について考える」というテーマのもと、推進委員など16名で福山市内の施設を訪問しました。

「皆さん、他者について思いやることを大切にしていかなないと歴史は繰り返されるのです。『ホロコースト』をただ同情するだけでなく、平和のために何かをする人になってください。」ホロコースト記念館創設者の大塚信まことさんは、声を絞り出すように話されました。午後を訪れた福山市人権平和資料館では、終戦直前に起こった福山大空襲の実相と部落差別の歴史について、学芸員さんの説明を聞きながら見学しました。

参加した一人ひとりが戦争の悲惨さと命の大切さについて改めて考える機会になったと思います。



#### 《参加者の感想》

- ☆実際にあったできごとを通して、差別や命の大切さを改めて考えさせられ、もう一度「アンネの日記」を読み直そうと思いました。
- ☆ホロコースト記念館も福山市人権平和資料館も、詳しく説明していただきよく分かりました。「無関心な傍観者になってはいけない」という言葉が印象に残りました。
- ☆身近な場所、環境にこそ平和があるということを忘れないように、福山の研修を思い出したいと思います。

## 「ブラックファンタジーと大型紙芝居の世界を楽しもう」

ボランティア人形サークル 風の子

今年度は「命」や「勇気」をテーマに大人と子どもが交流する機会として考えました。ブラックファンタジーの手法を使った『モチモチの木』は幻想的でしたし、大型紙芝居の『いのちのまつり』のからくりは見ている人をひきつけました。子どもも大人も、楽しみながら、思いやりや勇気について考え、命の大切さと向き合えたと思います。講演後には参加して下さった親子が感想を交換している姿が随所に見られ、有意義な時間が過ごせたと感じました。



### 《参加者の感想》 ★は子どもの感想

- ♡命の無限大のすごさを改めて知り、考えさせられました。これからも愛情いっぱい子どもを育てていきたいと思います。
- ♡優しさ、大好き、命、笑顔…大切にしていけないといけなくて改めて考えました。
- ♡大切だけどなかなか話題にできないような内容を、子どもと一緒に見ることができてよかったです。
- ★モチモチの木はとてもきれいでした。命の大切さやどこまでも続くご先祖様が大事なことが分かりました。
- ★いのちのまつりは見たことがあったけれど、改めて見て、少し分かったような感じがしました。これからも命を大切にしようと思いました。

## 第1回人権教育講演会 7.20 ㊦【人権課題：子ども、高齢者、その他の人権】



### 「誰一人も置き去りにしない教育を求めて～岡山自主夜間中学校から見えてくるもの～」

一般社団法人 岡山に夜間中学校をつくる会 理事長 城之内 庸仁氏

城之内先生は「すべての学びたい人の『力』になりたい!」という思いから、2017年に「岡山自主夜間中学校」を立ち上げました。教育機会確保法の制定により、各都道府県に1つ以上の公立夜間中学校を設置することになりましたが、岡山県はまだ設置に至ってはいません。夜間中学校の必要性や多くのボランティアの仲間の奮闘の様子について熱く語っていただきました。

### 《参加者の感想》

- ♡「学ぶことは生きること」「自主夜間中学は夢を叶える後押しができる場所」「人生をやり直す出発点」…心に響く言葉が次々に入ってきて夜間中学の大切さを痛感しました。
- ♡教育の機会があたり前ではないこと、そして普通に生活するために必要な知識や能力を身につける機会がなかった人がたくさんいることが分かりました。
- ♡城之内先生の優しい思い、教育に対する熱い気持ちが伝わってきました。



## 第2回人権教育講演会 9.21 ㊦【人権課題：その他の人権】



### 大人も子どもも自立する《ほめ育》講演会 「岡山から世界17か国に広がる教育メソッド」

株式会社スパイラルアップ 代表取締役 原 邦雄氏

原先生の教育メソッドの神髄は「人はほめられるために生まれてきた。そして、ほめ合うために存在する。」という言葉に集約されていました。

今回の講演会では、『ほめ育』の理論である、焦点・基準・ほめシートについて具体的に示していただきました。「隣の人にインタビュー」のワークショップで、その理論を実際に体験しました。そして、参加者の表情から「ほめること」の効果が伝わってきて、和やかな雰囲気での講演会になりました。



### 《参加者の感想》

- ♡「ほめ育」を初めて知りました。自分の今までの生き方が肯定できました。そして、自信をもって前進したいと思います。
- ♡心が和みました。とてもいい「ほめ育講座」でした。相手をきちんと今以上に理解しようと思います。
- ♡ただほめるのではなく、相手を知り、叱ることも含めてほめることの有用性がよく分かりました。ワークショップが楽しかったです。あっという間の1時間半でした。

“こども園楽しい!” ~みんながつながる  
こども園に~

こども園では「おはようございます」と元気な挨拶とともに子どもたちが毎日登園してきています。

「あっ、〇〇ちゃんだ」と友だちを見つけると、繋いでいたお母さんの手を自分から離して、門から入ってくる子どももいます。入園した頃の子どもたちを思うと頼もしく「大きくなったな～」と成長をうれしく感じます。

5歳児クラスのA児は空き箱や廃材で作って遊ぶことが大好きな男の子です。制作遊びの本から「作ってみたい」と好きな色の画用紙に模様を描き、テープで貼り合わせて完成したのは“海賊の帽子”「〇〇くん何作っているの？」興味をもった友だちがA児の周りに集まってきました。「私も作りたい!」「海賊の船があったらいいね。」A児の作った帽子がクラスみんなのイメージにつながり、海賊ごっこが始まりました。「海賊になって冒険に行こう!」と船や宝箱もできました。子ども達から始まった海賊の冒険を運動会に取り入れ可愛い海賊になって跳び箱や鉄棒に挑戦します。「跳び箱がんばるぞ!」「鉄棒で逆上がり挑戦するぞ!」海賊になると不思議と勇気やパワーが出るようです。子どもたちの何気ない日々の遊びの中には私たち大人の想像を超える様々な発見や驚きが隠されています。保育者自身が思いっきり子どもたちと一緒に遊んで、子どもの興味や関心、つぶやきをキャッチすることが大切だと感じます。子どもたちが“こども園楽しい!”と毎日期待をもってきてくれるように五福こども園のチームでがんばっていきたいと思います。



認め合い・褒め合い・感謝し合い

本校では9月に文化祭合唱コンクールが行われ、その振り返りとして「認め合い・褒め合い・感謝し合い」活動を行いました。文化祭の当日までの話し合いや練習、本番を通して褒めてあげたいこと、感謝したいこと、友達のよさについてふせんに記入し、友達に渡し、ワークシートに貼っていくという活動です。実行委員や指揮者、伴奏者などの目立って活躍した人に対してだけでなく、仲のよい生徒同士や同じパートでがんばった仲間に対してもメッセージを書いていた。20枚以上書いている生徒、同じクラスだけでなく隣のクラスにまでメッセージを届ける生徒、教員に対しても書いてくれる生徒もおり、安心できる雰囲気楽しく活動することができました。

活動の終わりに、自分にももらったメッセージを読んだ感想を書くのですが、「自分のしたことを誰かに認められるのはうれしい」「大変なこともあったけどみんなから書いてもらった内容を見たらがんばってよかった」といった内容や「特に意識していなかったことを感謝されてよかった」といった、自分の新たな一面を見つけれられたものもありました。まとめたワークシートはしばらく教室に掲示されるため、他の生徒に向けて書かれた内容や感想を見ることができます。同じ活動を、10月の体育会の振り返り活動でも行いました。

これらの活動を通して、仲間の新たな一面や友達のよい所の見つけ方に気付いてくれればと考えています。私たちも仲間のよい所を見つけれられる生徒がさらに増えるようにがんばっていきたいと思います。



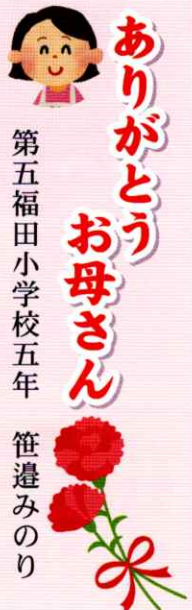
お母さんは、私や家族をいつも支えてくれています。お母さんは、私の自慢です。いつも本当にありがとうございます。



お母さんがネコにそそいでいる愛情は、毎日、私にもそそいでくれています。私がやりたいと決めたことを一生けん命応援してくれます。友達とうまくいかなくて悲しい思いをした時には話を聞いて、はげましてくれたり、解決さくをいっしょに考えたりしてくれます。

赤ちゃんネコは、人間の赤ちゃんと同じで四時間ごとにミルクを飲みます。二十四時間ずっと世話をしなくてはなりません。とても大変なことなのに、お母さんは「面どうくさい。」や、「大変。」という言葉は一言も言いません。それどころか、ネコが過ごしやすくなるように環境を整え、「かわいいね。」「おなかすいたね。」など、たくさんやさしい言葉をかけています。お母さんは、ミルクを与えるだけでなく愛情をたっぷりそそいでいるのです。ネコもとてもうれしそうにしています。

私のお母さんは、動物愛護センターの保護ネコボランティアに登録しています。生後間もないネコが保護されたという連絡が入ると愛護センターにむかえに行きます。百グラムぐらいの赤ちゃんネコを育て、七百グラムに達すると愛護センターへ返しに行き、里親を探してもらうのです。



第五福田小学校五年 笹邊みのり

